

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 09-114391  
 (43) Date of publication of application : 02. 05. 1997

(51) Int. Cl. G09F 9/00  
 G09F 9/00

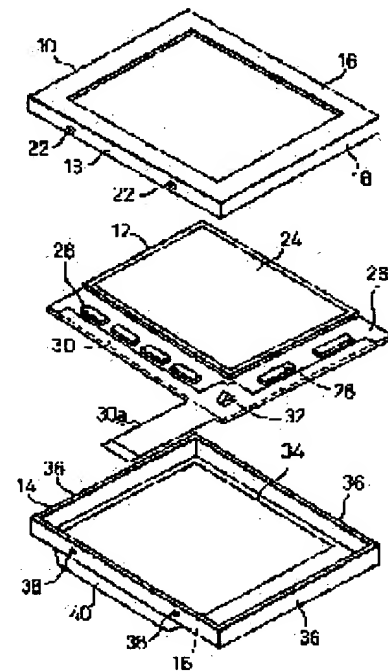
(21) Application number : 07-272398 (71) Applicant : FUJITSU LTD  
 (22) Date of filing : 20. 10. 1995 (72) Inventor : ONODERA TOSHIYA  
 TANAKA KATSUNORI  
 OSHIRO MIKIO  
 KISHIDA KATSUHIKO  
 MIYAMOTO TAKAFUMI

## (54) DISPLAY DEVICE

## (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the display device, in which an EMI countermeasure is accomplished, the number of parts is reduced and an automatic assembly is made suitable, by fixing a spring element to a display panel or a stage and connecting the frame ground of a bezel and the signal ground of the device.

SOLUTION: A spring element 32 is fixed to a flexible printed circuit board 30 on a display panel 12. The board 30 includes a signal ground (SG) and the element 32 is soldered to the SG. If the panel 12 is covered by a bezel 10, the eliminated part of the insulation cover of the inner surface of a display plate section 16 of the bezel 10 contacts to the spring element 32 on the panel 12. Thus, the signal element 32 electrically connects the frame ground of the bezel 10 to the signal ground of the board 30. Furthermore, the element 32 has a sufficient elasticity in the compressing direction and prevents the vibration of the panel 12.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 24. 03. 2000  
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]  
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
 [Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2000 Japan Patent Office

82/DE

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-114391

(43) 公開日 平成9年(1997)5月2日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	特許記号	庁内整理番号	P I	技術表示箇所
G 0 9 F 9/00	3 4 8		G 0 9 F 9/00	3 4 8 R
	3 0 9			3 0 9 Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-272398

(22) 出願日 平成7年(1995)10月20日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
1号

(72) 発明者 小野寺 俊也

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(72) 発明者 田中 克彦

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 石田 敏 (外3名)

最終頁に続く

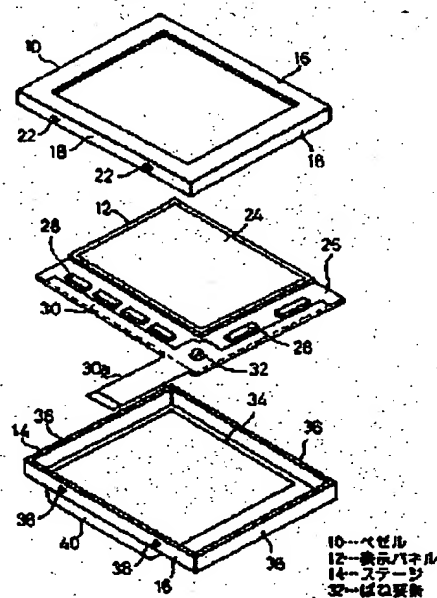
(54) 発明の名称 表示装置

## (57) 要約

【課題】 表示装置に関し、EMI対策を達成することができ、部品点数を低減でき、且つ自動的な組み立てに適した表示装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 ベゼル10と、表示パネル12と、ステージ14とからなる表示装置において、ばね要素32が表示パネル又はステージ14に固定され、該ばね要素によりベゼルのフレームグラウンドと装置のシグナルグラウンドとを導通させる構成とする。

第1実施例を示す図



10...ベゼル  
12...表示パネル  
14...ステージ  
32...ばね要素

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ベゼル(10)と、表示パネル(12)と、ステージ(14)とからなる表示装置において、ばね要素(32)が表示パネル又はステージ(14)に固定され、該ばね要素によりベゼルのフレームグラウンドと装置のシグナルグラウンドとを導通させることを特徴とする表示装置。

【請求項2】 ばね要素(32)が表示パネル(12)又は表示パネルに設けた制御要素(30)に固定され、ベゼル(10)のフレームグラウンドと制御要素のシグナルグラウンドとを導通させることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】 ばね要素(32)は概略U字形の形状を有し、フレームグラウンドとシグナルグラウンドとを導通させるとともに、弾力性により表示パネルの振動を防止するようにしたことを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項4】 ばね要素(32)はコネクタ本体(72)と一体化されてコネクタ(70)を形成することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ベゼルのフレームグラウンド(FG)と制御要素のシグナルグラウンド(SG)との電位レベルを等しくするようにした、例えば液晶表示装置等の薄型の表示装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年、表示装置はパーソナルコンピュータ(以下パソコン)やワードプロセッサ(以下ワープロ)等の情報表示手段として使用されている。CRTに換わる薄型、軽量、低消費電力化を図った表示装置の需要が高まっている。さらに、パソコンやワープロはラップトップ型が主流になり、ハンディタイプも市場が広がっており、最近では、ノート型が広く用いられるようになっており、また、車載用や携帯型のモニターにも需要が高まっている。今後、パソコンやワープロ並びに移動型映像装置の小型化、軽量化が要求される中で、回路の簡略化、部品点数の低減、構造の薄型化や軽量化を施す必要がある。

【0003】例えば、表示パネルとして液晶パネルを使用した表示装置は、液晶パネルの表面をベゼルで覆い、液晶パネルの下面側にステージを配置し、液晶パネルをベゼルとステージではさみ込むようにしてユニット化する。ステージには、バックライトや制御基板を取り付けるようになっており、液晶パネルは2枚のガラス基板の間に液晶を封入したものであり、一方のガラス基板は他方のガラス基板よりも広く、その余白部分にドライバや、ドライバ制御基板や、接続ケーブル等を含む。

【0004】EMI対策のためにフレームグラウンドとシグナルグラウンドの電位導通化を図る処置として、例え

ば、ベゼルの外周部に突起を設け、この突起にネジの取り付け穴を設け、そして、ステージ側の制御基板にネジが固定されるための取り付け穴を設け、これらの穴にネジを通すことにより、ベゼルとステージ側の制御基板とを一体化するとともに、FGとSGの電位導通化を図る。その際、取り付け穴の内壁にはんだメッキ処理を行い、電気的な導通を確実にする。また、ベゼルとステージをネジで一体化するとともに、FGとSGの電位導通化を図る。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】表示装置のEMI対策として、制御基板のシグナルグラウンド(SG)とベゼル等のフレームグラウンド(FG)間を導通状態にするため、ベゼルにFG用の端子として突起を設けなければならず、形状が大きくなる。また、従来は、ベゼルと、表示パネルの制御基板のVSS間を電線で接続しており、このため、ベゼル側に特別な形状をもたせる必要があり、配線接続においても、手作業によるはんだ付けを必要とする。

【0006】本発明の目的は、EMI対策を達成することができ、部品点数を低減でき、且つ自動的な組み立てに適した表示装置を提供することである。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】本発明による表示装置は、ベゼル10と、表示パネル12と、ステージ14とからなる表示装置において、ばね要素32が表示パネル12又はステージ14に固定され、該ばね要素によりベゼルのフレームグラウンドと装置のシグナルグラウンドとを導通させることを特徴とするものである。

【0008】この構成においては、ばね要素を例えば表示パネル上の制御要素に予めはんだ等で固定しておくことができ、そのはんだ付けは自動的に行うことができる。それによってばね要素を取り付ける行程を実質的に付加することなく、ベゼルを組み込むときに、自動的にばね要素がベゼルに接触し、自動的に表示装置の組み立てを行うことができる。さらに、ベゼルの外周部に突起を設ける必要がなく、表示装置の小型化を図ることができる。

【0009】上記構成において、ばね要素が表示パネル又は表示パネルに設けた制御要素に固定され、ベゼルのフレームグラウンドと制御要素のシグナルグラウンドとを導通させるようにすることができる。また、ばね要素は概略U字形の形状を有し、フレームグラウンドとシグナルグラウンドとを導通させるとともに、弾力性により表示パネルの振動を防止することができる。これによって、表示パネルが振動や衝撃に対して保護される。また、ばね要素はコネクタ本体と一体化されてコネクタを形成する構成とすることもできる。この場合、コネクタは表示装置の一部品として使用されているものとし、その端部にばね要素を取り付けておくことにより、組み立ての手間は

かからない。

【0010】

【発明の実施の形態】以下本発明の実施例について説明する。図1から図5は本発明の第1実施例を示す図である。図1において、本発明による表示装置は、ベゼル10と、制御要素を含む表示パネル12と、ステージ14とからなる。

【0011】ベゼル10は例えばステンレス鋼等の金属からなる矩形状の枠であり、中央に開口部を有する表面板部16と、該表面板部16に連続する4側部18とからなる。ベゼル10の表面には樹脂の絶縁被覆が施されており、ベゼル10が表示パネル12やステージ14の電気素子と接触しても絶縁性が維持されるようになって

いる。【0012】図3に示されるように、ベゼル10の表面板部16の内面の部分20は樹脂の絶縁被覆が除去されている。また、ベゼル10の側部18には穴22が設けられている。図1に示されるように、表示パネル12は2枚のガラス基板24、26の間に液晶を封入したものであり、一方のガラス基板26は他方のガラス基板24よりも広く、ガラス基板26にはアクティブマトリクス回路（図示せず）が形成されている。さらに、ガラス基板26の余白部分にはCOG（Chip on Glass）の実装方式でドライバー28や制御用フレキシブル印刷回路基板30が取り付けられている。ドライバー28とフレキシブル印刷回路基板30とはガラス基板26上のパターンで接続される。フレキシブル印刷回路基板30はケーブル部分30aを含む。

【0013】ばね要素32が表示パネル12上のフレキシブル印刷回路基板30に固定されている。図では1個のばね要素32が示されているが、必要に応じて複数個のばね要素32を設けることができる。フレキシブル印刷回路基板30はシグナルグランド（SG）を含み、ばね要素32はそのシグナルグランドにはんだ付けされる。

【0014】ばね要素32は、図4及び図5にも示されているように略略り字形の断面形状を有するかなり小さな金属板ばねである。ばね要素32は平坦な底辺部32aと、中間辺部32bと、上辺部32cとを有し、底辺部32aと中間辺部32bとの間の角度は直角よりも小さく、中間辺部32bと上辺部32cとの間の角度は直角よりも大きく、中間辺部32bと上辺部32cとの接合部は山形になっている。

【0015】ベゼル10を表示パネル12に被せると、ベゼル10の表面板部16の内面の絶縁被覆が除去された部分20が、表示パネル12上のばね要素32に接触するようになっている。従って、ばね要素32は、ベゼル10のフレームグランドとフレキシブル印刷回路基板30のシグナルグランドとを導通させる。しかも、図4及び図5に示されるばね要素32は圧縮方向に弾力性に

富んだものであり、弾力性により表示パネル12の振動を防止する。

【0016】ステージ14はベゼル10とは逆向きの矩形状の枠であり、開口部を有する底面板部34と、該底面板部34に連続する4側部36とからなる。ステージ14の側部36の外面には、ベゼル10の側部18の穴22と対応する位置に突起38が設けられている。図2に示されるように、ベゼル10はステージ14に入れ子状に被せられ、その際、ステージ14の側部36の外面の突起38がベゼル10の側部18の穴22に弾力的に嵌まるようになっている。なお、ベゼル10を被せる前に、表示パネル12がステージ14に挿入される。

【0017】さらに、ステージ14にはバックライト40が取り付けられ、表示パネル12を後面側から照明する。製造において、フレキシブル印刷回路基板30にはばね要素32を実装するためのはんだパッドを設け（はんだパッドはフレキシブル印刷回路基板30のVSSパターンに接続）、そこに、ばね要素32を部品自動搭載機で実装する。この作業行程の後に、ステージ14、表示パネル12及びベゼル10を順次搬送しながら自動的に組み立てる。

【0018】図6は本発明の第2実施例を示す図である。図6において、本発明による表示装置は、ベゼル10と、制御要素を含む表示パネル12と、ステージ14とからなる。ベゼル10は図1のものと同様な矩形状の枠である。この実施例では、ベゼル10はネジ52によりステージ14に固定されるようになっている。ネジ52は図示したもの以外にも設けられる。

【0019】表示パネル12は前の実施例と同様に2枚のガラス基板24、26の間に液晶を封入したものである。この実施例では、ドライバーとしてTAB54が使用され、さらにドライバー制御基板54等が設けられている。また、ベゼル10と表示パネル12の間にはスペーサ56が配置される。

【0020】ばね要素32が表示パネル12上に固定され、表示パネル12に設けた導体に接続されるようになっている。ばね要素32は図4及び図5に示したものと同様のものである。従って、ばね要素32は、ベゼル10のフレームグランドと表示パネル12のシグナルグランドとを導通させる。そして、ばね要素32は弾力性に富んだものであり、弾力性により表示パネル12の振動を防止する。ばね要素32を設けることにより、スペーサ56の数を低減することもできる。

【0021】ステージ14は第1実施例のものと同様に矩形状の枠であり、ネジ52を受ける適当な穴（図示せず）を有する。よって、表示パネル12をステージ14に挿入した後で、ベゼル10をステージ14に被せ、ネジ52を締めると、表示装置を自動的に組み立てることができる。また、ステージ14にはバックライト40が取り付けられ、さらにその他の制御基板58をネジ60

により取り付けることができる。この制御基板58は例えばコネクタ62を含み、コネクタ62により外部の制御装置と接続することができる。第2実施例の作用も第1実施例の作用とほぼ同様である。

【0022】図7及び図8は本発明の第3実施例を示す図である。この表示装置は、ベゼル10と、制御要素を含む表示パネル12と、ステージ14とからなる。ベゼル10は図1のものと同様な矩形状の枠である。この実施例では、コネクタ70が使用される。このコネクタ70は表示装置の制御手段と外部の制御装置とを接続することができる。

【0023】コネクタ70は表示パネル12又はステージ14に固定されることができる。コネクタ70はコネクタ本体72と、コネクタ本体72の端部に固定されているばね要素32とからなる。ばね要素32は上記したのと同様な特徴をもつものである。この場合、ばね要素32がコネクタ本体72内のシグナルグランドと導通するように取り付けられれば、ベゼル10がばね要素32と接触するように取り付けられたときに、ベゼル10のフレームグランドと装置のシグナルグランドとを導通させる。そして、ばね要素32は弾力性に富んだものであり、弾力性により表示パネル12の振動を防止する。また、コネクタ70は上記した表示装置の制御手段と外部の制御装置とを接続するもの以外に、表示装置に設けられるその他のコネクタとすることができる。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、\*

\*ばね要素を用いて薄型表示装置のフレームグランドとシグナルグランドを容易にとることが可能となり、EMI対策に寄与することができる。また、部品点数削減を図ることができる。且つ電気的な接続を自動的に行うことができる。ばね要素はばね性をもつことによって、表示装置の振動、衝撃を吸収することができる。さらに、ベゼルの外周部に突起を設ける必要がなく、表示装置の小型化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例の表示装置を示す分解斜視図である。

【図2】図1のベゼルとステージの連結部分を示す断面図である。

【図3】図1のベゼルの底部側から見た斜視図である。

【図4】図1のばね要素の拡大斜視図である。

【図5】図1のばね要素の拡大側面図である。

【図6】本発明の第2実施例の表示装置を示す分解斜視図である。

【図7】ばね要素を取り付けたコネクタを示す斜視図である。

【図8】図7のコネクタを含む表示装置を示す断面図である。

【符号の説明】

10…ベゼル

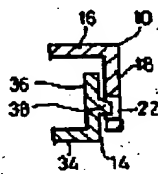
12…表示装置

14…ステージ

32…ばね要素

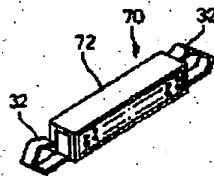
【図2】

ベゼルとステージの連結部分を示す図



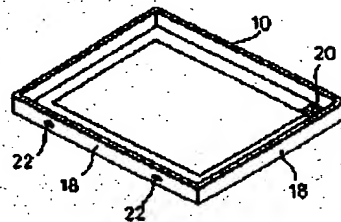
【図7】

ばね要素を含むコネクタを示す図



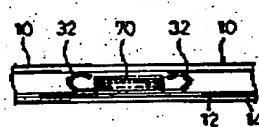
【図3】

ベゼルの底部から見た斜視図



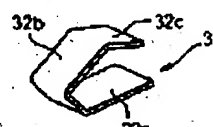
【図8】

コネクタを含む表示装置を示す図



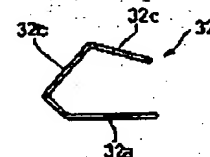
【図4】

図1のばね要素の斜視図

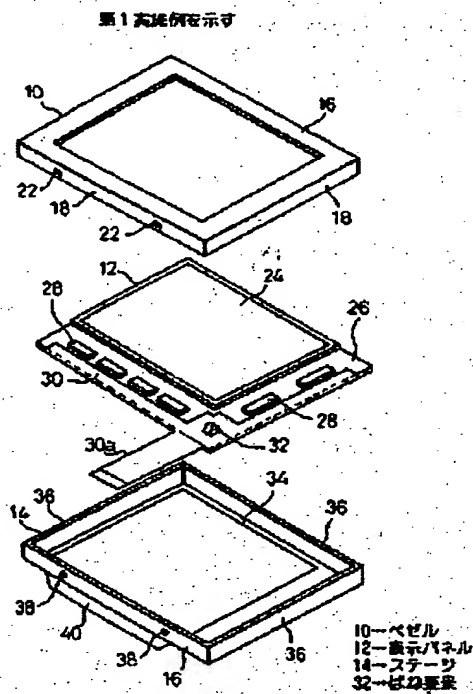


【図5】

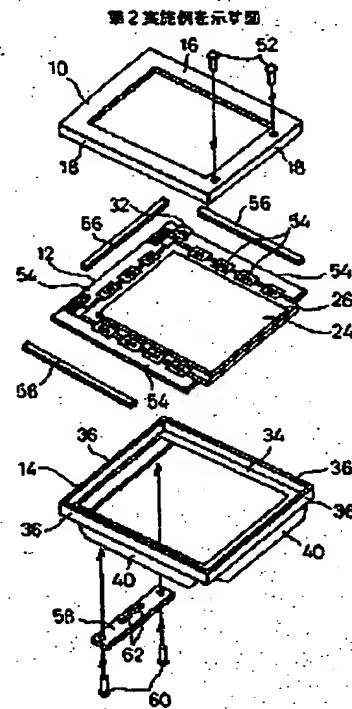
ばね要素の拡大図



【図1】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 大城 幹夫  
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(72)発明者 岸田 克彦  
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内  
(72)発明者 宮本 啓文  
神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

## Translation

German Patent and Trademark Office  
Munich, November 19, 2001  
Official File No.: 199 18 076.8-32  
Applicant: LG Philips LCD Co., Ltd.  
Attorney's File P 16050

In this Office Action the following references have been cited for the first time. (Their numbering will be adhered to also during the following procedure):

- (1) JP 09114391 A
- (1') English translation of JP 09114391 A

### **A.**

Any prior art that would oppose the grant of a patent has not been ascertained so far.

However, from JP 09114391 A a flat panel display device is already known as used for example in laptop computers (cf. paragraph [0002] of the translation). Thus, it is already provided with an outer casing having a side wall with a first frame 10 supporting the flat panel display (cf. fig. 1). The first frame 10 is provided with a first side panel 18. Further, a second frame 34 is provided which is configured to receive the first frame 10 with a liquid crystal cell 24 arranged therebetween, wherein the second frame 34 is provided with a second side panel 36.

However, in the prior art according to JP 09114391 A no support is provided for the connection of the first and second frame.

The Examining Division therefore suggests to the applicant to file a new claim 1 which is set off from this prior art. In order to make the invention clearer, this new claim should have reference signs and in its characterizing part should describe the support 32, 134, 138 and the device features which make the cooperation of the support and the first frame (element 22 in fig. 3 and element 120 in fig. 6 of the description of the application) and the second frame (elements 30 and 132) possible.

This new claim 1 could be followed by claims 2 to 12 as subclaims, completed by reference signs.

### **B.**

The independent claims 13, 23 and 24 should also, as indicated under section A of this office action, be newly filed in a version that is set off from prior art and provided with reference signs. This also applies to the subclaims relating to these claims.



C.

The introductory part of the description still has to be adapted to the new set of claims. Here JP 09114391 A should be acknowledged as prior art, on which the respective preamble of the new claims is based.

After receipt of the new claims and the introductory part of the description adapted thereto the grant of the patent seems possible.

Based on the present documents, however, the grant of a patent is not yet possible for the reasons as mentioned.

Examining Division for class G 09 F  
Wittke

Encl.: copies of 2 cited references, in dupl.

# Deutsches Patent- und Markenamt

München, den 19. November 2001

Telefon: (0 89) 21 95 - 2740

Aktenzeichen: 199 18 076.8-32

Deutsches Patent- und Markenamt · 80297 München

Patent- und Rechtsanwälte  
Dipl.-Ing. Hans-Martin Viering  
und Kollegen  
Postfach 221443

80504 München

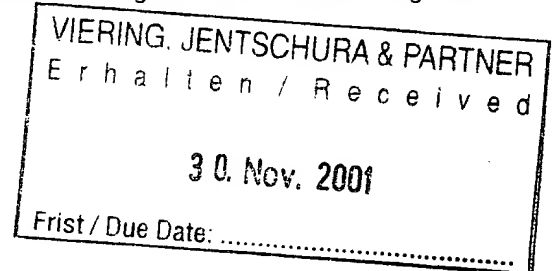
Anmelder:

LG Philips LCD Co., Ltd.

Ihr Zeichen: P 16050

Bitte Aktenzeichen und Anmelder bei  
allen Eingaben und Zahlungen angeben

Zutreffendes ist angekreuzt ☒ und/oder ausgefüllt!



Prüfungsantrag, wirksam gestellt am 28. Dezember 1999

Eingabe vom

eingegangen am

Die Prüfung der oben genannten Patentanmeldung hat zu dem nachstehenden Ergebnis geführt.

Zur Äußerung wird eine Frist von

**4 Monat(en)**

gewährt, die mit der Zustellung beginnt.

Für Unterlagen, die der Äußerung gegebenenfalls beigelegt werden (z.B. Beschreibung, Beschreibungsteile, Patentansprüche, Zeichnungen), sind je zwei Ausfertigungen auf gesonderten Blättern erforderlich. Die Äußerung selbst wird nur in einfacher Ausfertigung benötigt.

Werden die Beschreibung, die Patentansprüche oder die Zeichnungen im Laufe des Verfahrens geändert, so hat der Anmelder, sofern die Änderungen nicht vom Deutschen Patent- und Markenamt vorgeschlagen sind, im Einzelnen anzugeben, an welcher Stelle die in den neuen Unterlagen beschriebenen Erfindungsmerkmale in den ursprünglichen Unterlagen offenbart sind.

Mr

## Hinweis auf die Möglichkeit der Gebrauchsmusterabzweigung

Der Anmelder einer nach dem 1. Januar 1987 mit Wirkung für die Bundesrepublik Deutschland eingereichten Patentanmeldung kann eine Gebrauchsmusteranmeldung, die den gleichen Gegenstand betrifft, einreichen und gleichzeitig den Anmeldetag der früheren Patentanmeldung in Anspruch nehmen. Diese Abzweigung (§ 5 Gebrauchsmustergesetz) ist bis zum Ablauf von 2 Monaten nach dem Ende des Monats möglich, in dem die Patentanmeldung durch rechtskräftige Zurückweisung, freiwillige Rücknahme oder Rücknahmefiktion erledigt, ein Einspruchsverfahren abgeschlossen oder - im Falle der Erteilung des Patents - die Frist für die Beschwerde gegen den Erteilungsbeschluss fruchtlos verstrichen ist. Ausführliche Informationen über die Erfordernisse einer Gebrauchsmusteranmeldung, einschließlich der Abzweigung, enthält das Merkblatt für Gebrauchsmusteranmelder (G 6181), welches kostenlos beim Patent- und Markenamt und den Patentinformationszentren erhältlich ist.

**Annahmestelle und  
Nachbriefkasten  
nur  
Zweibrückenstraße 12**

**Hauptgebäude**  
Zweibrückenstraße 12  
Zweibrückenstraße 5-7 (Breiterhof)  
**Markenabteilungen:**  
Cincinnatistraße 64  
81534 München

**Hausadresse (für Fracht)**  
Deutsches Patent- und Markenamt  
Zweibrückenstraße 12  
80331 München

Telefon (089) 2195-0  
Telefax (089) 2195-2221  
Internet: <http://www.dpma.de>

**Bank:**  
Landeszentralbank München  
Kto.Nr.: 700 010 54  
BLZ: 700 000 00

**P 2401.1**  
08.00  
02/01

S-Bahnanschluss im  
Münchner Verkehrs- und  
Tarifverbund (MVV):



Zweibrückenstr. 12 (Hauptgebäude)  
Zweibrückenstr. 5-7 (Breiterhof)  
**S1 - S8 Haltestelle Isartor**

Cincinnatistraße:  
**S2 Haltestelle Fasangarten**  
**Bus 98 / 99 (ab S-Bahnhof Giesing) Haltestelle Cincinnatistraße**

In diesem Bescheid sind folgende Entgegenhaltungen erstmalig genannt. (Bei deren Nummerierung gilt diese auch für das weitere Verfahren):

- (1) JP 09114391 A
- (1') Englischsprachige Übersetzung der JP 09114391 A

#### A.

Ein patenthindernd entgegenstehender Stand der Technik konnte nicht ermittelt werden.

Aus der JP 09114391 A ist jedoch bereits eine Flachpaneel-Anzeigevorrichtung, so wie sie beispielsweise in Laptop-Computern zum Einsatz kommt, bekannt (vgl. Absatz [0002] der Übersetzung). Sie weist somit bereits ein eine Seitenwand aufweisendes äußeres Gehäuse mit einem die Flachpaneel-Anzeigevorrichtung unterstützenden ersten Rahmen 10 (vgl. Figur 1) auf. Der erste Rahmen 10 weist ein erstes Seitenpaneel 18 auf. Weiterhin ist ein zweiter Rahmen 34 vorgesehen, welcher derart ausgebildet ist, den ersten Rahmen 10 mit einer dazwischen angeordneten Flüssigkristall-Zelle 24 aufzunehmen, wobei der zweite Rahmen 34 ein zweites Seitenpaneel 36 aufweist.

Allerdings ist beim Stand der Technik nach der JP 09114391 A keine Stütze zur Verbindung von erstem und zweitem Rahmen vorgesehen.

Die Prüfungsstelle schlägt der Anmelderin deshalb vor, einen gegen diesen Stand der Technik abgegrenzten, neuen Patentanspruch 1 einzureichen. Dieser sollte zur Verdeutlichung der Erfindung mit Bezugszeichen versehen sein und in seinem Kennzeichen die Stütze 32, 134, 138 sowie die Vorrichtungsmerkmale beschreiben, welche das Zusammenwirken zwischen Stütze und erstem Rahmen (Teil 22 in Figur 3 und Teil 120 in Figur 6 der Anmeldungsbeschreibung) sowie zweitem Rahmen (Teile 30 und 132) ermöglichen.

Dem neu vorzulegenden Patentanspruch 1 können sich die um Bezugszeichen ergänzten Patentansprüche 2 bis 12 als Unteransprüche anschließen.

**B.**

Die nebengeordneten Patentansprüche 13, 23 und 24 sollten ebenfalls, wie unter Abschnitt A dieses Bescheides angegeben, in gegen den Stand der Technik abgegrenzter und mit Bezugszeichen versehener Fassung neu vorgelegt werden. Dies gilt auch für die diesen Patentansprüchen zugeordneten Unteransprüche.

**C.**

Die Beschreibungseinleitung muss noch an das neue Patentbegehren angepasst werden. Dabei sollte die JP 09114391 A als der Stand der Technik gewürdigt werden, von dem jeweils der Oberbegriff der neuen Patentansprüche ausgeht.

Nach Eingang der neu vorzulegenden Patentansprüche sowie der daran angepassten Beschreibungseinleitung erscheint die Patenterteilung möglich.

Mit den vorliegenden Unterlagen ist eine Patenterteilung aus den genannten Gründen jedoch noch nicht möglich.

Prüfungsstelle für Klasse **G 09 F**

**Wittke**

**Anlagen:** Abl. von 2 Entgegenhaltungen 2-fach